

住宅性能評価業務評価料

I. 設計住宅性能評価

1. 一戸建ての住宅

以下、「(1) 必須評価」と「(2) 選択評価」との合計とする。

(1) 必須評価

税込(単位:円)

性能表示事項			一戸建ての住宅
1 構造の安定に関する事 と	1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	住棟	合計: 82,500
	1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	住棟	
	1-7 基礎の構造方法及び形式等	住棟	
3 劣化の軽減に関する事 と	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	住棟	
4 維持管理・更新 への配慮に関する事 と	4-1 維持管理対策等級(専用配管)	住戸	
5 温熱環境・エネルギー 消費量に関する事 と	5-1 断熱等性能等級	住戸	
	5-2 一次エネルギー消費量等級	住戸	

(2) 選択評価

税込(単位:円)

性能表示事項			一戸建ての住宅
1 構造の安定に関する事 と	1-2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)	住棟	7,700
	1-4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	7,700
	1-5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	7,700
2 火災時の安全に関する事 と	2-1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	住戸	3,850
	2-4 脱出対策(火災時)	住戸	3,850
	2-5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	住棟	3,850
	2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	住棟	3,850
6 空気環境に関する事 と	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏)	住戸	3,850
	6-2 換気対策(居室の換気対策)	住戸	3,850
	6-2 換気対策(局所換気対策)	住戸	3,850
7 光・視環境に関する事 と	7-1 単純開口率	住戸	3,850
	7-2 方位別開口比	住戸	3,850
8 音環境に関する事 と	8-4 透過損失等級(外壁開口部)	住戸	3,850
9 高齢者等への配慮に関する事 と	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	住戸	3,850
10 防犯に関する事 と	10-1 開口部の侵入防止対策	住戸	3,850

(3) 長期使用構造等確認を追加する場合

税込(単位:円)

性能表示事項			一戸建ての住宅
長期使用構造等確認		住棟	9,350

2. 共同住宅等

以下、「(1) 必須評価」と「(2) 選択評価」との合計とする。

(1) 必須評価

税込(単位:円)

性能表示事項			戸数				
			10戸以下 一律	11~20戸 一律	21~50戸 戸当り	51~100戸 戸当り	101戸~ 戸当り
1 構造の安定に関する事 と	1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	住棟	225,000	291,500	12,100	10,450	8,800
	1-3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟					
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	住棟					
	1-7 基礎の構造方法及び形式等	住棟					
3 劣化の軽減に関する事 と	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	住棟					
4 維持管理・更新 への配慮に関する事 と	4-1 維持管理対策等級(専用配管)	住戸					
	4-2 維持管理対策等級(共用配管)	住棟					
	4-3 更新対策(共用排水管)	住棟					
5 温熱環境・エネルギー消費量 に関する事 と	5-1 断熱等性能等級	住戸					
	5-2 一次エネルギー消費量等級	住戸					

(2) 選択評価

税込(単位:円)

性能表示事項			戸数				
			10戸以下	11~20戸	21~50戸	51~100戸	101戸~
			戸当り	戸当り	戸当り	戸当り	戸当り
1 構造の安定に関する事	1-2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)	住棟	1760	1540	1320	1100	880
	1-4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	1760	1540	1320	1100	880
	1-5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	1760	1540	1320	1100	880
2 火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	住戸	880	770	660	550	440
	2-2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	住戸	880	770	660	550	440
	2-3 避難安全対策(他住戸等火災時・共用廊下)	住戸	880	770	660	550	440
	2-4 脱出対策(火災時)	住戸	880	770	660	550	440
	2-5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	住棟	880	770	660	550	440
	2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	住棟	880	770	660	550	440
	2-7 耐火等級(界壁及び界床)	住戸	880	770	660	550	440
4 維持管理・更新への配慮に関する事	4-4 更新対策(住戸専用部)	住戸	880	770	660	550	440
6 空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏)	住戸	880	770	660	550	440
	6-2 換気対策(居室の換気対策)	住戸	880	770	660	550	440
	6-2 換気対策(局所換気対策)	住戸	880	770	660	550	440
7 光・視環境に関する事	7-1 単純開口率	住戸	880	770	660	550	440
	7-2 方位別開口比	住戸	880	770	660	550	440
8 音環境に関する事	8-1 重量床衝撃音対策	住戸	880	770	660	550	440
	8-2 軽量床衝撃音対策	住戸	880	770	660	550	440
	8-3 透過損失等級(界壁)	住戸	880	770	660	550	440
	8-4 透過損失等級(外壁開口部)	住戸	880	770	660	550	440
9 高齢者等への配慮に関する事	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	住戸	880	770	660	550	440
	9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	住戸	880	770	660	550	440
10 防犯に関する事	10-1 開口部の侵入防止対策	住戸	880	770	660	550	440

(3) 長期使用構造等確認を追加する場合

税込(単位:円)

性能表示事項		共同住宅
長期使用構造等確認	住棟	88,000+2,750×戸数

II. 建設住宅性能評価

1. 必須評価及び選択評価(共通)

設計住宅性能評価料に下表の数値を乗じた金額とする。

なお、東京駅からの直線距離が50kmを超える地域における建設住宅性能評価の検査については、別途出張費(見積りによる)が加算される。

戸建住宅	2
共同住宅等(10戸以下)	2
共同住宅等(11~20戸)	1.9
共同住宅等(21~50戸)	1.8
共同住宅等(51~100戸)	1.7
共同住宅等(101戸~)	1.6

2. 特定物質の濃度測定に係る評価

税込(単位:円)

測定物質	一戸建ての住宅、共同住宅等		
	同時測定できる戸数	戸当り	
6-3 室内空气中の化学物質の濃度等	ホルムアルデヒドのみ	1	55,000
		2	38,500
		3~5	30,800
		6~10	26,400
		11~30	24,200
		31~	23,100
ホルムアルデヒド + VOC	ホルムアルデヒド + VOC	1	77,000
		2	60,500
		3~5	49,500
		6~10	44,000
		11~30	41,800
		31~	40,700

III. 取り下げ及び解除を行った場合の返還の額(設計住宅性能評価、長期使用構造等確認、建設住宅性能評価共通)

申請の取り下げを行った時期	返還する率(%)
評価作業前	95
評価作業時	50
評価作業終了時	10